

【別紙】

令和2年度 宮城県ストップ温暖化賞 受賞者一覧

1 宮城県ストップ温暖化大賞（1件）

（敬称略）

| 受賞者 「取組タイトル」 | 概要 |
|--|---|
| <p>一般社団法人 持続可能で安心安全な社会をめざす新エネルギー活用推進協議会（JASFA）</p> <p>「地域を越えた中小企業連合による『新エネルギー』の活用に向けた技術開発等の取組」</p> | <p>○当該団体は、東日本大震災を契機として、再生可能エネルギー等の活用促進や新技術の導入推進を目的として、宮城県内の企業などが中心となり、平成23年6月に設立された産学連携団体で、宮城県仙台市に活動拠点を置いている。</p> <p>○設立当初から、東松島市復興推進機構（後の（一社）東松島みらいとし機構）に参画し、東松島市宮戸地区復興再生多目的施設を、バイナリー発電など再生エネルギーを活用した施設として整備したほか、児童生徒等に対する環境教育や、宮城県産業技術総合センターとの連携による廃熱・未利用熱の有効活用に向けた新技術開発などに取り組んでいる。</p> <p>○また、会員企業の有する様々な知見や製品等を活かし、太陽光発電とリチウムイオン電池を組み合わせた育苗施設を南相馬市の被災未利用地に整備したほか、NEDO・東北大学と連携して温泉熱利用で課題となっていた温泉スケールの発生を抑制する熱交換器を開発し、長崎県雲仙市の小浜温泉で実証を行うなど、県内に留まらず幅広い地域で取組を展開している。</p> |

2 宮城県ストップ温暖化賞（4件）

| 受賞者名 「取組タイトル」 | 概要 |
|--|--|
| <p>菊地 ひろ子</p> <p>「次世代へ今 私たちにできること『家庭で身近に取り組める温暖化防止活動』」</p> | <p>○平成18年から、宮城県地球温暖化防止活動推進員として活動を開始し、平成21年に推進員の仲間と環境団体「青空エコカフェ」を立ち上げ、家庭で身近に取り組める地球温暖化対策を紹介してきた。</p> <p>○震災後の平成26年から、仮設住宅住民の「暑い（寒い）、狭い、隣の音が聞こえる」などの不安を少しでも解消するため「冬を暖かく過ごそう 地球にも優しく」をテーマとした仮設住宅における講演、みやぎ生協気仙沼メンバー集会室「ぼけっと」や商工会を始めとする地元団体での緑のカーテンやエコバッグの作成、保温調理の実演など実践的な普及啓発活動を実施した。</p> |

| 受賞者名 「取組タイトル」 | 概要 |
|--|---|
| <p>気仙沼地域エネルギー開発株式会社</p> <p>「漁業のまち気仙沼で木質バイオマス熱電供給事業に取り組む」</p> | <p>○平成 26 年から、林業事業者や自伐林業から買取した未利用間伐材等の木質バイオマスをチップ燃料として、気仙沼港近くに建設した木質バイオマスガス化発電施設（リアスの森バイオマスパワープラント）により、発電した電気を地域新電力会社「気仙沼グリーンエナジー」へ全量卸し、市内公共施設へ電力供給するとともに、熱は市内のホテルに冷暖房・給湯用に供給している。</p> <p>○燃料となる間伐材等は、気仙沼地域の素材生産事業者と協定に基づく供給を主体に、市内の自伐林家から購入し、買取価格の半分は地域通貨「リネリア」で支払うことで、地元商店の活性化を図っている。</p> <p>○自伐林家養成塾「森のアカデミー」を開校し、個々の山主への林業技術研修（チェーンソー、搬出、作業道等）により自伐林家の育成を図っている。</p> |
| <p>有限会社千田清掃</p> <p>「バイオディーゼル燃料で温暖化防止！」</p> | <p>○平成 17 年から、宮城・岩手・福島各県の食品工場や大崎市の家庭等から回収した廃食用油を原料としてバイオディーゼル燃料を製造し、社内外の業務車両等に供給している。</p> <p>○また、同社代表者は、環境教育リーダーとして地域の小学校で実施している出前講座で、バイオディーゼルを燃料としたゴーカートを走らせ、環境に興味を持つきっかけ作りを行っている。</p> |
| <p>千葉 智恵</p> <p>「環境出前講座等の地球温暖化防止普及活動」</p> | <p>○子供たちの未来に負の遺産を残したくないという子育て中の思いを発端として、家庭・個人単位で参加する省エネ共和国と子どもエコクラブを立ち上げ普及活動を開始。</p> <p>○平成 16 年からは、宮城県地球温暖化防止活動推進員として、小中学校での環境出前講座や夏休みエネルギー教室の開催、地域イベントでの地球温暖化防止関連ブース等の設置、廃棄されるキャンドルを活用したリメイクキャンドルを作るプログラムの実施、各種フォーラムやコンテストでのコメンテーターとしての出演、新聞コラム執筆やラジオ出演による広報活動、他県を含めた人材育成講座での講演、南三陸 BIO バイオガス施設における町民ガイドなど、地域における地球温暖化防止に関する普及啓発活動を長年継続している。</p> |